

■第18回羽山台空家対策プロジェクト会議を開催しました！

平成31年4月12日(金)第18回羽山台空家対策プロジェクト会議を竹の原公民館にて開催し、次の内容について協議しました。

【協議事項等】

○空家発生の予防活動について

→京都市の取組みを参考に羽山台空家対策プロジェクトの活動を再確認しました。

→住まいのノートを活用についてメンバーで実際に記入し、問題点を次回会議でまとめます。

○将来の空家予防対策調査について

→実際に調査してみた感想と問題点について協議しました。

○空家所有者判明者に対する相談及び購入要望空家紹介対応について

→相談2件に対し、対応の報告。

○平成30年度空家等の活動報告について

→平成30年度相談は8件。相談についての活動の報告。

【次回の開催について】

第19回 平成31年5月13日(月)13:30～竹の原公民館にて開催。

羽山台空家対策プロジェクトの活動イメージ



①ローカルルールにおける積極的な活動

→空家台帳更新、空家見回り代行、Dランク空家の解消など積極的に活動します。

②空家発生の予防活動

→「羽山台住まいのノート」の啓蒙活動、お住まいに関する調査の充実を図ります。

③他地域の団体との積極的な交流や情報交換

→他地域で空家対策に取り組んでいる団体と交流し、情報交換を行います。

地域のパワーは不可欠です！
皆さんの「困った！」を一緒に考えましょう。

【編集後記】

「遠い親戚より近くの他人」ということわざがありますが、いざという時頼りになるのは、遠く離れて暮らす親類ではなく、近くに住んでいる他人という意味合いだそうです。今では仕事も生活も多様化し、そのご近所付き合いも難しくなってきました。しかし、ご近所づきあいはやはり大事。そこで地域の取り組みが非常に重要になってくると思います。平成から令和へ～ご近所付き合いも多様化しながら活かしていきたいですね。

■第19回羽山台空家対策プロジェクト会議を開催しました！

令和元年5月13日(月)第19回羽山台空家対策プロジェクト会議を竹の原公民館にて開催し、次の内容について協議しました。

【協議事項等】

○令和元年度プロジェクト組織について

→プロジェクト組織構成の変更点を説明

○将来の空家予防対策調査について

→次回会議にて報告予定。

○羽山台住まいるノート活用の進め方について

→HPや広報などの宣伝や、モニターを中心に広めたらどうかなどの意見がありました。メンバーも内容を理解して、説明できるようにしておきたいです。

○令和元年度取り組みテーマについて

①ローカルルールにおける積極的な活動

②空家の発生予防活動

③他地域の団体との積極的な交流や情報交換

三つのテーマについて話し合いました。

○空家所有者判明者に対する相談及び購入要望空家紹介対応について

→その後の経過報告がありました。

【次回の開催について】

第20回 令和元年6月13日(木) 13:30～竹の原公民館にて開催。

【メンバー紹介】 事務局長 平良 幸雄

活動を通じて感じたこと

第一に感じたことは、空家を解消するのに長い時間を必要とすることです。所有者の抱える問題、制度、法律の制約等、簡単に意思決定ができません。

プロジェクトでは、判断材料を提供し、きめ細かくフォローすることが必要と感じています。

プロジェクトの今後について

空家を発生させない取り組みがカギになっていくと思います。空家予防の重要テーマとして、住まいるノートの活用、空家予防対策調査を検討しています。校区の皆さんにもぜひ活用していただきたいと思います。

【編集後記】

『突然、市役所から「空家の適正な管理について」の手紙が届いて驚いた！』
大牟田市外に居住されている A さん（空家の唯一の相続権者）からの第一声。

2015 年 11 月にご近所にお住まいの方から相談を受けた空家。それから 3 年が経過し、屋根が崩落しました。

所有者とその長女（納税管理人）は亡くなり、所有権も複雑で相続放棄された方も多く、長年の懸案物件です。

A さんは、『私も相続放棄しようかな』と迷いましたが、市の担当者や弁護士さんの助言を受け入れられ、『これ以上、近隣住民や土地所有者にご迷惑を掛けられません』と解体を決意。現在は更地になり、安心・安全の確保と住環境の改善が図られました。

解体完了後には、『色々にご心配をお掛けしました』と挨拶に来られました。

いま、羽山台空家対策プロジェクトの活動と A さんみたいな方との出会いが、私の原動力となっています。

■第 20 回羽山台空家対策プロジェクト会議を開催しました！

令和元年 6 月 13 日（木）第 20 回羽山台空家対策プロジェクト会議を竹の原公民館にて開催し、次の内容について協議しました。

【協議事項等】

○将来の空家予防対策調査について

→配布後、回収中。8 月までに回収予定。

○羽山台 住まいるノートの活用の進め方について

→活用方法について協議しました。

○空家見回り代行について

→他の自治体を参考に協議しました。次回までに、事務局が素案を作成します。

○購入要望空家紹介の対応について

→1 件の相談に対し対応中。

○補助事業の募集開始について

→民間空家等利活用促進事業、将来の空家予防推進事業について紹介。

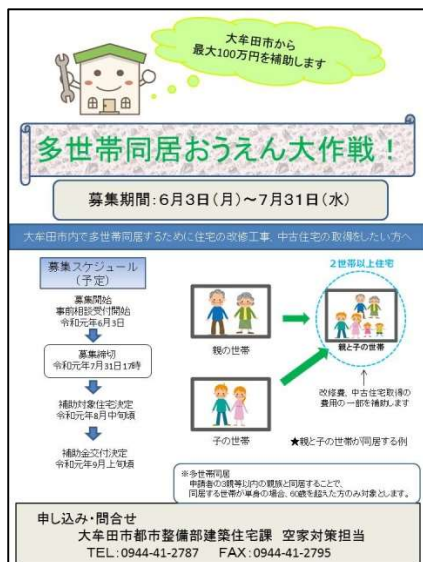
○「暮らしの安心講座」の紹介。

○「つるおかランド・バンク研修会」のお知らせ。

○「地域提案型交付金」の申請意向確認。

【次回の開催について】

第 21 回 令和元年 7 月 12 日（金）13：30～竹の原公民館にて開催。



将来の空家予防推進事業



民間空家等利活用促進事業

【編集後記】

6月より、空家の予防と利活用に関する補助事業がスタートしました。

空家対策には、空家の発生を未然に防ぐ「空家の予防」も大切です。「多世帯同居おうえん大作戦！」に、これまでに4件の補助金を交付しています。

羽山台プロジェクトでも、75歳以上の単身世帯を対象に「お住まいに関する調査」を実施したり、「羽山台住まいるノート」の活用方法を議論したり、空家の予防活動に力を入れています。今回の会議でも、メンバーから「1人暮らしのお年寄り宅の草刈りをしよう！」など、声が上がりました。

羽山台校区も、コツコツと地道に空家の予防に取り組んでいます。

■第21回羽山台空家対策プロジェクト会議を開催しました！

令和元年7月12日（金）第21回羽山台空家対策プロジェクト会議を竹の原公民館にて開催し、次の内容について協議しました。

【協議事項等】

○現在の空家対策検討課題について

→7つの課題について、内容、具体的取組を協議しました。

○将来の空家予防対策調査の回収状況について

→約60件程集まった。9月頃を目途に回収します。

○空家見回り代行について

→チョロットサービスの内容について協議しました。

→補修工事等が伴う場合は別途見積りするが、プロジェクトで出来るのと出来ないのを整理するなど、もう少し内容をつめる必要あり。

→事務局で先進地調査を行い、次の会議で報告します。

○7月12日の午前中、「暮らしの安心講座」を開催しました。（報告）

○「つるおかランド・バンク研修会」のお知らせ。（8月20日～21日開催）

○民生委員さんへの空家実態調査の協力について

→民生委員は空家情報を持っています。民生委員の半分は協力可能。

【次回の開催について】

第22回 令和元年8月8日（木）13：30～ 竹の原公民館にて開催。

【メンバー紹介】

三小田 勲

活動を通じて感じたこと

空き家がひとつ解消しても、また空き家が発生しています。
なかなか空き家が減らないと感じました。

プロジェクトの今後について

空き家の草刈り活動をしながら、きれいなまちづくりをしたい。

【編集後記】

先日、ある団体より空家対策について話しをして欲しいと依頼がありました。講演テーマは、「いまから始める空家対策」。私の話しに受講者の方は熱心にメモを取りながら耳を傾けられていました。

質問コーナーでは、「子ども見守り隊からの情報収集が必要ではないか？」、「自治会長さんとの連携は？」、「今後増加が見込まれる老朽家屋については、厳しく対応してほしい。」などの意見や質問がありました。辛口の意見もありましたが、まちづくりや空家問題を真剣に考えているからこそ出る意見です。

「大牟田市は空き地と空家等に真剣に向き合っています！」は、本市対策計画の表紙を飾るコトバ。受講生の皆さんのように、市民や地域の一人ひとりが、空家問題に真剣に向き合っていきたいですね。

■第22回羽山台空家対策プロジェクト会議を開催しました！

令和元年8月8日（木）第22回羽山台空家対策プロジェクト会議を竹の原公民館にて開催し、次の内容について協議しました。

【協議事項等】

○現在の空家対策検討課題について

→7つの課題について、その後の経過報告があり、具体的取組を協議しました。

→「住まいるノート」、お盆に記入予定です。

○将来の空家予防対策調査の回収状況について

→約 60 件程集まった。9 月頃を目途に回収します。

○「つるおかランド・バンク研修会」のお知らせ。(8 月 20 日「えるる」で開催)

○空家見回り代行について

→前回に引き続き、チョロットサービスの内容について協議しました。

→柳川市シルバー人材センターへのヒアリング結果を報告しました。

→点検項目のうち「樹木」は点検の対象外とし、点検項目を 10 項目としました。→次回、写真を添付した記入例を作成し、次回の会議で報告します。

→12 月のまち協だよりに掲載し、周知を図ります。

○大規模災害と空家活用に関する国の動向について

→平良氏より、情報提供がありました。

【次回の開催について】

第 2 3 回 令和元年 9 月 1 3 日 (金) 13 : 30 ~ 竹の原公民館にて開催。

【つるおかランド・バンク研修会】



「主催者挨拶」



「廣瀬理事長の講演」

【編集後記】

8 月 20 日に「えるる」で開催された「つるおかランド・バンク研修会」に参加しました。会場には、羽山台プロジェクトメンバーをはじめ、自治体職員や不動産関係者など約 60 名程の方が参加され、つるおかランド・バンクの廣瀬理事長の話を熱心に聞かれていました。

この研修会は、空家の予防や適正管理など、羽山台空家対策プロジェクトの取組みとも共通する部分があり、研修会で学んだことを具体的に実践していきたいと思います。

■第 2 3 回羽山台空家対策プロジェクト会議を開催しました！

令和元年 9 月 1 3 日 (金) 第 2 3 回羽山台空家対策プロジェクト会議を竹の原公民館にて開催し、次の内容について協議しました。

【協議事項等】

○現在の空家対策検討課題について

→土地所有者からの相談案件について報告がありました。

→住まいのノート活用の進め方について検討しました。

→建物所有者が不明な場合の調査方法を検討しました。

○空家見守り代行サービスについて

→羽山台広報紙への掲載予定で周知を図ります。

→点検報告書、記入例などの修正案を含め検討しました。

○空家実態調査フォローアップについて

→市で調査した結果をメンバーと共有。

担当民生委員へ確認を依頼しました。

○土地所有者からの相談対応について

→第7回会議で相談のあった土地所有者からのお礼がありました。

【次回の開催について】

第24回 令和元年10月11日（金）13：30～竹の原公民館にて開催。

【編集後記】

今日は、有明高専建築学科 藤原研究室の藤原先生と生徒さんが参加されました。

藤原研究室では、空家を防止するシステムに関する研究をされており、会議の内容を真剣に聞かれているお二人の姿が印象的でした。会議の雰囲気も、いつもより華やかになった感じがしました。

会議後のインタビューでも、とても熱心に質問され、「平良さんをはじめ、各メンバーの役割分担が明確で、会議が円滑に進行されていますね」と感想を述べられていました。私たちも研究成果を楽しみにしています。

今後、「羽山台空家対策プロジェクト」で教育機関との連携ができれば、これまで以上にいろいろなアイデアが生まれそうですね。



【インタビューの様子】

【会議の様子】



■第24回羽山台空家対策プロジェクト会議を開催しました！

令和元年10月11日(金)第24回羽山台空家対策プロジェクト会議を竹の原公民館にて開催し、次の内容について協議しました。

【協議事項等】

○現在の空家対策検討課題について

→住まいのノートについて協議しました。周知方法についても検討しました。

次回、実際に記入したノートを見ながら再協議します。

○将来の空家予防対策調査の回収状況について

→9月末で回収を締め切り、市で集計をします。

○空家見回り代行について

→点検報告書の修正案と周知方法について、協議しました。

○空家実態調査フォローアップについて

→市で調査地図を準備した後、民生委員さんへ協力を依頼します。

○その他

→有明高専の藤原先生よりお礼のお手紙が届きました。

→平成30年住宅・土地統計調査結果報告（大牟田市の空家数など）

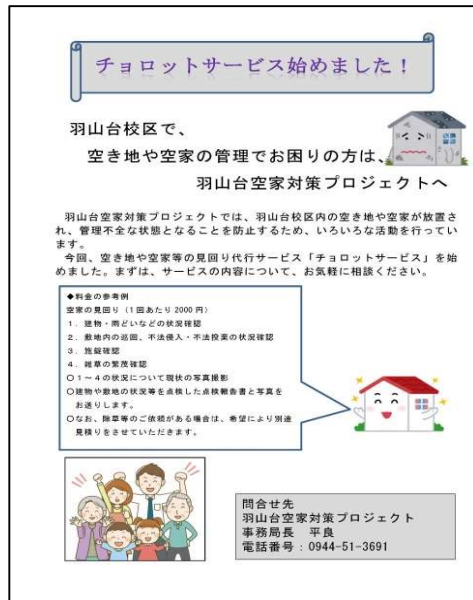
→お月見会のご案内～10月14日にお試し住宅であります

→空家の件について苦情相談がありました。

→空家対策に関する冊子紹介（金沢市）

【次回の開催について】

第25回 令和元年11月13日（水）13：30～ 竹の原公民館にて開催。



見守りサービス

始めます。

チラシ完成！

【編集後記】

羽山台校区にある空家を対象に、空家見守りサービスを開始します。

台風後の空家が心配…そろそろ草刈が必要かしら…などの心配事も、見守りサービスで安心。

9月下旬から、市にも、台風後の苦情が多くありました。近年、自然災害も甚大になってきています。日頃より、空家の適正管理を心がけ、大きな被害に繋がらないようにしたいものです。

■第25回羽山台空家対策プロジェクト会議を開催しました！

令和元年11月13日(水)第25回羽山台空家対策プロジェクト会議を竹の原公民館にて開催し、次の内容について協議しました。

【協議事項等】

○現在の空家対策検討課題について

→空家見回り代行サービスを12月の羽山台校区まちづくり協議会通信に掲載します。

→将来の空家予防調査シートを市で集計します。

→空家実態調査を民生委員へ依頼します。

○住まいるノートの活用方法について

→ノートの改善点について説明しました。

→福祉委員→民生委員→まちづくり協議会へ段階的に周知を図っていきます。

→羽山台校区サロンへの出前講座を依頼します。

○その他

→居住支援セミナーについて(12月21日)

・パネラーとして、平良さんが出演されます。

→「おためし居住」の利用者より、「羽山台校区に住みたい」との声がありました。

情報を共有し、検討しています。

→空家対策に取り組んでいる他団体との交流を検討しています。

【次回の開催について】

第26回 令和元年12月11日（水）13：30～ 竹の原公民館にて開催。

【セミナーのチラシ】

1月には
無料相談会も
開催します！

【編集後記】

今年も空家について考えるセミナーが開催され、パネラーとして、当プロジェクトの事務局長である平良さんが出演されます。羽山台空家対策プロジェクトの素晴らしいところを皆さんに知ってもらえると嬉しいです。たくさんの方の参加をお待ちしています。

これからは、他の団体とも交流をしながら、どんどん良いところを吸収して空家の可能性を広げていけるといいなと思います。

人と人との繋がりは不可欠ですが、繋がり方は多様化しています。完成間近の「住まいるノート」を繋がり方の一つとして活用してもらえると、うれしく思います。言葉ではなかなか言えないけれど、想いは伝えたいですね。

■第26回羽山台空家対策プロジェクト会議を開催しました！

令和元年12月11日（水）第26回羽山台空家対策プロジェクト会議を竹の原公民館にて開催し、次の内容について協議しました。

【協議事項等】

○現在の空家対策検討課題について

→Cランク空家の解消に関する報告がありました。

→チョロットサービスの周知方法について協議しました。

→12月21日「住まいと住まい方（暮らし）を考えるセミナー」で配布し、周知を図ります。

→空家実態調査について、空家のカウント方法などの考え方を共有しました。

→1月の会議までには終了予定です。

○住まいるノートの活用方法について

→11月21日（木）福祉委員への説明を行いました。

→「いい刺激になった」「帰って話し合いをしてみます」などの意見がありました。

→次回は民生委員、公民館のサロン等への説明会を予定しています。

○その他

→「住まいと住まい方（暮らし）を考えるセミナー」について（12月21日（土）イオンホール）

→セミナー開催のポスターを、羽山台校区内の各地区掲示板へ掲示するようにしました。

【次回の開催について】

第27回 令和2年1月10日（金）13：30～ 竹の原公民館にて開催。



羽山台 住みいるノートが
完成しました！

【編集後記】

今回の会議の中で、メンバーの方から「最近近所の方が、お亡くなりになり、空家になってしまった。気になってしまい、月に数回見回りをしています。以前では考えられないが、プロジェクトのメンバーとなり、自分も意識が変わりました。所有者のご家族からは、ありがとうございます。」と、少し恥ずかしそうに、しかし、はっきりと話してくださいました。

3年目を迎えた羽山台プロジェクト会議ですが、ほっこりとした良いお話を聞かせてくださいました。

■第27回羽山台空家対策プロジェクト会議を開催しました！

令和2年1月10日（金）第27回羽山台空家対策プロジェクト会議を竹の原公民館にて開催し、次の内容について協議しました。

【協議事項等】

○現在の空家対策検討課題について

・住みいるノートについて

→日程調整後、民生委員への説明を予定しています。

- ・空家予防対策調査表について
→未回収データを次回、市へ提出します。
- ・見回り代行チラシについて
→作成した「見回り代行チラシ」の周知方法を検討しました。
納税通知書には、「空き家・空き地相談窓口」（ありあけ不動産ネット協同組合）のチラシを同封することで準備が進められています。
- ・実態調査について
→民生委員による調査が終了しました。市で地図を作成します。
- ・居住支援協議会との連携について
→居住支援協議会との連携や支援の詳細を後日、居住支援協議会と打ち合わせします。

○その他

- ・空き地及び空家等対策計画の改定について（意見募集）
→「空き地及び空家等対策計画」のパブリックコメント（意見募集）をしています。
- ・平成 30 年度福岡県空家対策連絡協議会成果報告書について
「自治会等と連携した空家の早期把握と発生予防の取組み」（紹介）
→羽山台空家対策プロジェクトの取組が掲載されています。
成果報告書に示されている実行プランでは、羽山台空家対策プロジェクトは県が目標とする最終ステップ（自治会主体の地域づくり）に到達しています。
→宗像市では自治会脱退時に連絡先を確認しています。効果的な周知・啓発方法を検討し、遂行基準の見直しを行います。

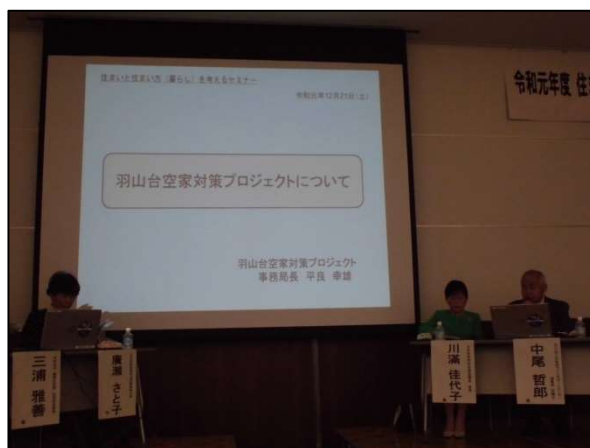
【次の開催について】

第 28 回 令和 2 年 2 月 12 日（水）13：30～ 竹の原公民館にて開催。

【セミナー】



「平良事務局長紹介」



「事例発表」

【編集後記】

昨年 12 月 21 日、イオンホールで開催された大牟田市居住支援協議会・大牟田ライフサポートセンター主催の「住まいと住まい方（暮らし）を考えるセミナー」に参加しました。

当プロジェクトの平良事務局長は、昨年度に引き続き 2 回目のセミナー出演でした。

このプロジェクトの活動も、広く市民に認知されてきた感じがします。地域のパワーなくして、空家問題の解決はないと思います。

このセミナーを通じて、これからも地域と連携しながら空家対策を進めたいと改めて思いました。

■第28回羽山台空家対策プロジェクト会議を開催しました！

令和2年2月12日(水)第28回羽山台空家対策プロジェクト会議を竹の原公民館にて開催し、次の内容について協議しました。

【協議事項等】

○現在の空家対策検討課題について

- ・住まいるノートについて
→民生委員への説明予定。時期については未定。
- ・空家予防対策調査表について
→追加データを整理中。民生委員の負担も考慮し、4月の羽山台広報紙へ掲載してみてもどうか。
調査がしやすいように、名札、ワッペン、調査員証が欲しいという意見が出ました。

○空家見回り代行

- 12月の羽山台広報紙へ掲載したが、草刈依頼が1件と反応は薄い。今後の周知方法として、納税通知書の活用や、新聞社への取材依頼を検討しました。

○空家実態調査

- ・市でデータ化した空家地図と空家台帳をメンバーに渡し、更新を依頼しました。
- ・Dランク空家等について
→地域は、老朽化の進行したDランクを発見した場合、市へ報告してください。報告を受けた市は現地調査や所有者調査を行い、所有者等へ指導します。

○その他

- ・「令和元年度卒業研究論文発表会」について
→2月6日に有明高専で開催された「卒業研究論文発表会」に参加しました。
以前インタビューに来られた有明高専建築学科藤原研究室の生徒さんは、素晴らしい発表でした。

【居住支援協議会との連携会議のようす】



【編集後記】

1月28日に居住支援協議会、羽山台プロジェクトメンバー、市の3者による空家対策の連携を図るため会議を行いました。

羽山台校区の空家を住宅確保要慮者へ紹介し、地域の力で入居者に対する見回り等のフォローをどこまでできるか話し合いました。当プロジェクトメンバーから、「地域に眠る空家をお金儲けではなく、現在、住まいに困っている人のために使ってほしい」との意見が出され、空家を解体するだけではなく、空家を活用していくことの必要性をメンバー一同で認識しました。

今回の会議は、羽山台空家対策プロジェクトの可能性を広げた一日となり、使える空家の紹介について、市も何かお手伝いできないかと思っています。